

青森県地球温暖化防止活動推進センターです。

青森県地球温暖化防止活動推進センターでは、青森県の目標、2010年までに温室効果ガス削減率＝マイナス6.2%（1990年比）を達成するために様々な活動を行っています。

01 | 青い森の省エネ住宅まるごとフェアが開催されました。

11月3～4日、11～12日と2週連続で省エネ住宅を体験するフェアが開催されました。

雪の多い青森地区とヤマセに悩む八戸地区。それぞれの気候・風土に応じた、暖房設備、サッシ、屋根材、壁材などの住宅関連資材と、住宅づくりのノウハウが展示され、多くの市民でにぎわいました。

両会場では、省エネ住宅関連のパネル、省エネ製品を展示する各社のブース、設計相談やリーフレット配布、プレゼント付きのアンケートコーナーな



▲(青森会場：サンロード青森)

どが設けられたほか、「省エネ住宅啓発番組」が放映されました。さらに、省エネ住宅の専門家による、わかりやすいセミナーが開催され、省エネ住宅のツボが紹介されました。



▲(八戸会場：八食センター)

02 | 「キャンドルナイト in のへじ 2006」が開催されました。

11月26日、野辺地町の愛宕公園にて「でんきを消してスローな夜を キャンドルナイト in のへじ 2006」が開催されました。

今年も弘前、八戸に続き、3回目の開催で、町としては初めての開催です。県内一雪が多いといわれる野辺地町ですが、当日はこの上ない晴天に恵まれ、寒さもそれほど厳しくありませんでした。

午後から始まったイベントには、地元の小学生や家族連れがたくさん訪れました。参加者はエコクイズコーナーで盛り上がり、地球温暖化のシミュレーション機器、省エネ電球比較実験機で学び、またリサイクルキャンドルづくりや野辺地町ならではのホタテ貝を使ったアートを体験しました。

夕方に行われたキャンドルの点火式には野辺地町長をはじめ、多数が出席し、公園はろうそくのほのかな柔らかな明かりに包まれました。

場内では他にエコライブとして地元高校生によるバンド演奏、吹奏楽、津軽三味線&民謡ライブが行

われ、大人も子どもも楽しく過ごしました。

青森県の環境キャラクター、カンキョマンによる環境紙芝居も行われ、子どもたちにわかりやすくメッセージを伝えることが出来ました。野辺地町は昨年11月から省エネビジョンの策定を進めており、省エネによる地球温暖化防止に対する住民意識の高まりを期待しているとのこと。是非皆さんで力を合わせてがんばってほしいと思います。

野辺地町の皆さん、ありがとうございました。



キャンドルナイトは夏至と冬至の夜の2時間、電気を消してキャンドルの明かりの下で過ごそうというコンセプトで全国400カ所以上で開催されているイベントです。イベントを呼びかけたり、インターネットで参加表明したり、いろいろな参加の方法があります。キャンドルのやさしい明かりの下、何をするかは自由。子どもに絵本を読んでもあげたり、家族とゆっくり会話したり。あわただしい現実からちよっと離れているようなことを考えてみる時間です。

03 | 「EST」環境的に持続可能な交通社会をめざしてプロジェクトチームが活動中です。



ESTという言葉を知ったことはありますか?実はこれ、国土交通省、環境省、警察庁が提唱している、環境的に持続可能な交通(EST: Environmentally Sustainable Transport)の略語です。

自動車の二酸化炭素排出量は非常に多いのですが、都会のように公共交通網が発達していない県内では自家用車は不可欠な移動手段となっています。

それでもできるだけ二酸化炭素の排出を減らし、

かつ便利な社会をつかっていこうというのがこのESTモデル事業です。

県内では八戸市が国土交通省からモデル事業の選定を受けています。県センターはこの事業へ協力しており、市民から見たバスやタクシーなどの公共交通の「わかりやすくして乗りたくなる、楽しくて便利な使い方」を模索中です。

1月には啓発パンフレットが完成し、さらにオープンカフェと称した市民井戸端会議も開催されました。



04 | 秋の地球温暖化防止活動推進員研修が開催されました。

10月22日に津軽会場(五所川原市)、10月29日に南部会場(三沢市)にて秋の推進員研修が行われました。今回は実践研修と銘打って、実際に目で見て触れて体感して、ということに主眼を置いて開催しました。両会場グリーンコンシューマー(環境負荷の少ない製品を選んで購入する人)になるための買い物ゲームを体験。さらに津軽会場ではさまざまな形の風車キットの組み立



▲(津軽会場：立佞武多の館)



▲(南部会場：三沢航空科学館)

て体験、南部会場ではリサイクルキャンドルの作り方を体験しました。推進員の皆さんがそれぞれの地域で地球温暖化防止活動を進める際に活用できるプログラム体験になりました。あなたの街の推進員と一緒に地球温暖化のお話や楽しい体験プログラムを実施してみませんか。あなたの街の推進員は下記サイトで紹介しています。

<http://www.eco-aomori.jp/accca/>

05 | 津軽地区の地球温暖化防止活動推進員が市民へ地球温暖化防止の大切さを伝えました。

10月28日の「弘前市民参画センター交流まつり」と12月3日の「ボランティアデー in 弘前市総合学習センター」にて津軽地区の青森県地球温暖化防止活動推進員(アースレンジャー)が地球温暖化の現状についてPRしました。展示内容は・・・

- 1 自転車走行式発電機：大人気で一日中試乗者が絶えませんでした。
- 2 手回し式発電機：白熱灯・蛍光灯のエネルギーの差の学習に良いと大好評でした。
- 3 温室効果ガス濃度実験機：デモンストレーション用の機械に充填させた空気とCO2では、CO2の方が0.4℃温度が高くなる現象がしっかり観測

され、大人も子供もCO2の温室効果に納得しました。4 スターリング・エンジン：熱エネルギーを動力エネルギーに変換する装置に注



目が集まりました。そのほか、地球温暖化関連各種資料の配布、ビデオ放映、こどもエコクラブの活動報告、作品展示なども行いました。特にビーズによる、ハッチョウトンボ製作が人気があり、一日中、席があくことがありませんでした。

06 | 青森県地球温暖化防止活動推進員研修「温室効果ガス観測技術衛星 GOSAT」について学びます。



「GOSAT」は、温室効果をもたらしやすガスである二酸化炭素等の排出削減への貢献を目的とした衛星で、二酸化炭素の濃度分布を宇宙から観測します。

GOSATはJAXA(宇宙航空研究開発機構)と環境省が共同開発するプロジェクトで、JAXAは衛星と観測センサーの開発を、環境省は主にデータ利用を担当します。打ち上げは2008年8月

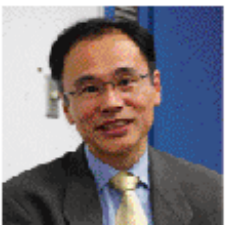
を予定しています。

従来、地上の二酸化炭素観測地点の数は不十分で、観測地点の位置にも偏りがありましたが、GOSATでは、宇宙からの高頻度でグローバルな観測データと地上観測データ、シミュレーションモデルを組み合わせることで、二酸化炭素濃度分布を高精度で推定することができます。また、同じく地球温暖化をもたらしやすガスであるメタンについても観測を行うことが検討されています。

今回の研修では、このプロジェクトのマネージャーである浜崎敬さんをゲストに迎えます。

GOSAT(Greenhouse Gases Observing Satellite)は地球温暖化の監視役です。詳しくは下記をご覧ください。

<http://www.satnavi.jaxa.jp/project/gosat/index.html>



*青森県地球温暖化防止活動推進センター(県センター)についての詳細はホームページをご覧ください。http://www.eco-aomori.jp/ この頁の情報についてのお問い合わせは県センター：TEL0178-22-1507 (email: info@eco-aomori.jp) までお気軽にどうぞ。